

## 第1回部会等でのご意見について

障害者差別解消支援地域協議会部会 第2回
資料6

No	項目	委員	内容	第二校案
1	HB	湯澤委員	障害者の定義について、ホームページに見たものと違うが、都独自の見解なのか教えてほしい。 (川内部会長より⇒一般的な障害者の定義より広い意味なのか狭い意味なのか。後日事務局より皆様に回答ください)	※湯澤委員に基本方針に記載のある障害者の定義であることを説明し、了解いただきました。
2	HB	加藤委員	都条例が、法改正により同等になるということを、法の部分あるいは「はじめに」で記載すべき。	はじめに 文言修正しました。 (17行目～)
3	HB	宮川委員	「障害を理由とする」差別が法の対象であるという前提がわからないので明記すべき。 障害当事者が障害者に、というのかも含むのか。	はじめに・P1 文言修正しました。
4	HB	関哉委員 川内部会長	・不当な差別的取り扱いや合理的配慮の提供義務違反にならない例を挙げることにについて、似た事例が容易に見過ごされないように、記載すべきか再検討すべき。 ・記載する場合は、あくまで個別的状況を踏まえて判断すべきということをしっかり記載すべき。 ・真に本人の同意を得ていれば、そもそも例として挙げる必要がないのではないか。	P11～18 文言修正しました。 ・「留意事項」として例はあくまで例示であり、個別に判断する必要があることを明記しました。 ・各事例において、障害者本人に丁寧に説明して理解を得る旨の記載を追記しました。 ・P11に記載のあった電動車椅子の搭乗手続きの事例、P14に記載のあった抽選販売の事例について、特殊な事例と思われたため削除しました。
5	HB	川内部会長	・建設的対話を行って本人の同意を得るということを書き込むか。 ・例示としてふさわしいものか1つ1つ検討が必要。	
6	HB	加藤委員	提供違反にあたらない事例は参考になるので載せてほしい。	

## 第1回部会等でのご意見について

No	項目	委員	内容	第二校案
7	HB	川内部会長	環境の整備との区分けがわかるような、合理的配慮の提供にあたってのチャート図や手順のようなものを載せるべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P15、51 環境の整備と合理的配慮の提供の違いがわかる図を掲載しました。</li> <li>・ P12、20 ケーススタディ集に掲載のあった「不当な差別的取扱い」「合理的配慮の提供」に関するチャート図を掲載しました。</li> </ul>
8	HB	川内部会長	障害者とのコミュニケーションにおけるチャート図を載せるべき。国交省参照。	P31 ご紹介いただきました「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」のチャート図を掲載しました。
9	パンフ	加藤委員	事業者の文言について、統一したほうが良い。事業者or民間事業者orお店などをつけるか	「事業者（お店など）」に文言修正しました。
10	パンフ	加藤委員	条例を国に先駆けてというのは大きな特徴の1つではなくなっているかと思う。⇒川内部会長より；広域支援相談員や、紛争解決の仕組みは誇れることだと思う。	P10 条例のポイントの1つめは、不当な差別的取り扱いの禁止・合理的配慮の提供義務についての記載に変更しました。
11	パンフ	川内部会長	22ページ新規ページの不当な差別的取扱いの説明について、「障害を理由として」に文言変更すべき。	P10 内閣府のリーフレットを参考に文言修正しました。P22には障害者とのコミュニケーションにあたっての記載をまとめました。
12	パンフ	加藤委員	不当な差別的取扱いの学校の事例について、公共交通機関等に変更でもよいのではないか。	P10 入学拒否等については、教員向けの事例であるため、交通の事例に変更しました。
13	パンフ	川内部会長	障害を理由とせず、本人の能力を見て入学を判断するようなポジティブな書き方でもよいのではないか。	
14	パンフ	加藤委員	共生社会の実現に向けたという書き方に違和感をもった。⇒川内部会長：間に一文入れてはどうか。	P23 文言修正しました。

## 第1回部会等でのご意見について

No	項目	委員	内容	第二校案
15	パンフ	川内部会長	合理的配慮の提供の説明について、責任や費用が重すぎない範囲という記載は要修正。	P11 内閣府のリーフレットを参考に、文言修正しました。P22には障害者とのコミュニケーションにあたっての記載をまとめました。
16	パンフ	工藤委員	合理的配慮の提供の文言は、一方的に伝える印象があるので、話し合いをする旨記載してほしい。 同じ障害でも人によって希望することが違うので、それを記載してほしい。	
17	HB	川内部会長	「第5 障害特性について」の各障害の医学モデルの説明が事業者等にとってどれほど必要なのでしょうか。どんなに区別があっても、事業者の対応の基本をきちんと書いておく方が重要だと思います。	・事業者にとって必要でない場合もあるかと思いますが、当部署としては、その医学的な説明も含めて啓発・周知したいと考えております。 ・P62～「主な対応」についても、事業者が留意することでないことは削除、修正しました。
18	パンフ	川内部会長	やさしい日本語を意識しているのであれば、パンフレット全体の表現を見直す必要があると思う。	1つ1つの文章を平易にするように修正しました。
19	パンフ	川内部会長	4コマ漫画の※書きについて、視覚障害のある人に伝えるという意向があるものとする、これ以降の漫画の説明もそれを意識して状況説明を丁寧にする必要があるのでは？	ストーリー的に詳しく記載しました。
20	その他自由意見	宮川委員	様々の障害者差別を考える上で、これからその障害に特化した事項や差別事案などが出てくるかと思います。それを解消したり広報したりするうえで、私は視覚障害に関しては理解をしている。ただ 他の障害のことは解らないことが多い。この会には少なくともさまざまな障害当事者が出席をしているかと思う。その方々にその障害の特性や、苦勞、種類などを少し説明していただけると、より会議に入りやすいのかなと思った。	※皆様に共有させていただきます。事務局としても、各委員から補足いただけますと大変勉強になりますので、ご検討どうぞよろしくお願いします。